

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2020年度事業報告

I 概要

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて国際大会が中止になるなどしました。そういう状況の中で日本選手権はハング、パラともに開催することかでき、上級タンデム検定も5回開催することかできました。またパラグライダー教本改訂版を発行することかできました。2021年度はワクチン普及に伴って、各種の活動が次第に活発になることが期待されます。

フライヤー会員数の減少に伴い、JHFではフライヤー会費を年額5000円から7000円に改定しました。今後とも従来に増して経費の節約に努めていきます。更に、重要な保険制度については、フライヤー自身のケガを保障するJHF総合保障制度の加入者の拡大を図ります。フライヤー人口は少しずつ減少を続けていますが、教本作成や安全セミナーなどを通じて事故を防止し、重大事故0と新会員獲得に取り組んでいきます。

1. 収支の現状

2020年度予算は委員会関係を中心に支出を10%削減する内容で組まれました。そのうえで、昨年度取崩した公益目的事業基金を半分費消する予算案でしたが、実際には2020年3月から本格化した新型コロナ感染拡大対策の影響で、競技関係など予定された事業が実施できず未消化予算が積み重なりました。このため一時的に手元資金が過剰な決算となりました。しかしながら、この決算によりJHFの収支に余裕が出た訳ではありません。新型コロナの経済的影響の今後の見通しは、全く不透明です。JHFでも偏ることの無い堅実な運営を進めます。

2. 組織運営等

- 1) 教員検定員による教員助教員更新講習会を14カ所で開催、78名が受講
- 2) レスキューパラシュートトリパック更新講習会を4カ所で開催、5名が受講
- 3) 教員技能証学科検定については集合研修検定を2月27日～28日に開催 7名受検
- 4) 上級タンデム検定会を開始 5カ所 49名受検
- 5) 第7回JHFフォトコンテストを開催

II 事項別状況

1. 組織

(1) 会員数

- ア 正会員 47
- イ フライヤー会員 6,573名(2021年3月末有効登録数)
- ウ 賛助会員 11

(2) 役員構成

- 理事 7名(内会長1名、副会長2名) 監事 2名(2021年3月末現在)

2. 会議等の開催

(1) 総会

2020年 6月通常総会 *新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により9月に開催延期

開催通知 2020年4月5日(金)、8月5日(水)
開催日 2020年9月2日(水) 13:00~16:00
開催場所 北とぴあ 7階・第二研修室
(東京都北区王子)

議案 報告事項1 2019年度事業報告について
報告事項2 2019年度決算報告について
決議事項1 貸借対照表及び損益計算書の承認について
報告事項3 2020年度事業計画について
報告事項4 2020年度収支予算について
決議事項2 会費値上げについて
決議事項3 JHF役員選任規約改正について

(2) 理事会

ア 第1回理事会 開催日 5月21日(出:理事7、監事1)(内リモート:5)
イ 第2回理事会 開催日 6月26日(出:理事7、監事1)(内リモート:2)
ウ 第3回理事会 開催日 7月21日(出:理事7、監事2)(内リモート:3)
エ 第4回理事会 開催日 10月15日(出:理事7、監事1)(内リモート:6)
オ 第5回理事会 開催日 12月4日(出:理事7、監事1)(内リモート:6)
カ 第6回理事会 開催日 3月10日(出:理事7、監事1)(内リモート:5)

文書理事会 開催日 8月5日、9月1日、10月19日、12月23日、1月5日、
13日、27日、2月15日、3月18日

(3) 委員会

ア ハンググライダー競技委員会 11月22日、他競技会開催時に実施
イ パラグライダー競技委員会 7月25日、他競技会開催時に実施
ウ 補助動力委員会 10月23日、2月3日
エ 教員・スクール事業委員会 4月6日、6月15日、12月15日、16日
オ 安全性委員会 3月17日
カ 制度委員会 5月12日、6月25日、7月30日、
2月10日、3月13日
キ ハングパラ振興委員会 6月3日、10月28日、3月10日
ク 役員選任実行委員会 4月22日、3月11日
ケ 委員長理事合同会議 3月2日

2020年度は、ハンググライダー競技委員会、パラグライダー競技委員会(大会中での開催)以外は、全ての委員会がリモート会議で行われた。
上記のほかSNSや電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

ア JHFレポートを発行(4月、7月、11月、1月)
(独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています)
イ 都道府県連盟事業費の交付
ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数: 2020年度 4,996名(新規・更新)
2019年度 5,145名

(3) 技能証発行

ア HG : 86枚 (2019年度 199枚)
イ PG : 779枚 (2019年度 782枚)
ウ MPG : 9枚 (2019年度 11枚)
エ レスキューリパック認定証 24枚 (新規 5・更新19)

(4) 競技会の主催・公認・後援

ア HG : 3件 (内FAIカテゴリーI・II : 3件)
イ PG : 12件 (内FAIカテゴリーI・II : 2件)
ウ HG・PG同時開催 : 0件

(5) 競技会の開催

ア HG :

1 日本選手権

10月1日～4日 茨城県 石岡市 板敷山エリア
参加40名 不成立

2 クラスV日本選手権 10月31日～11月3日

茨城県 石岡市 足尾山エリア 参加16名 日本選手権者 : 山口裕之

3 ハンググライディングシリーズ (参加人数68名、成立大会3)

第1位 名草慧 女子第1位 野尻知里

4 ハンググライディングフライトコンテスト

ストレートディスタンス クラスV 1位 松田隆至 (216.44km)

クラスI 1位 田中 猛 (236.80km)

アウトアンドリターン クラスV 1位 佐々木則生 (153.48km)

クラスI 1位 石坂繁人 (68.87km)

トライアングル クラスV 1位 松田隆至 (119.14km)

クラスI 1位 石坂繁人 (108.47km)

デュレーション 1位 中西亮太 (7:20:11)

イ PG :

1 日本選手権

9月18日～22日 茨城県 石岡市 足尾山エリア
参加69名

日本選手権者 : 成山基義 女子日本選手権者 : 平木啓子

2 アキュラシー日本選手権

11月28日～30日 静岡県 富士宮市 猪之頭エリア
参加28名

日本選手権者 : 岡 芳樹 女子日本選手権者 : 山口香代

3 ジャパンリーグ (参加人数114名、成立大会3)

オープンクラス 1位 : 成山基義

オープンクラス女子 1位 : 平木啓子

スポーツクラス 1位 : 長島信一

ジャパン2リーグ (参加人数138名、成立大会4)

総合 1位 : 中川喜昭

女子 1位 : 坂本智春

チーム 1位 : チーム印南

クロスカントリーリーグ (8名 19本)

1位 : 中川喜昭 (321.1km)

最長フライト 中川喜昭 (179.8km)

アキュラシージャパンリーグ (参加人数36名)

スクラッチクラス 1位 : 岡 芳樹

スクラッチクラス女子	1位：山口香代
ハンディキャップクラス	1位：古賀光晴
学生クラス	該当者なし
チーム	1位：スカイ朝霧

(6) スクール・エリア情報の収集及び公開

ア	スクールサイト登録校	167件	(削除2件、新規2件)
イ	エリア情報掲載	174件	(削除0件、新規2件)

(7) 海外関係団体活動

ア CIVL総会 2021年2月4日～7日 リモート (ZOOM ミーティング)
出席者：デレグイト 岡 芳樹、オルタネート 牟田園明

(8) 世界選手権等へのチーム派遣

ア 第9回FAIハンググライディングクラス5世界選手権
第14回FAIハンググライディング女子世界選手権
4月19日～5月1日 アメリカ … 中止
イ 第4回FAIパラグライディング・アキュラシーアジア選手権
5月30日～6月7日 カザフスタン … 延期 (開催未定)

(9) その他

ア	機体型式登録	0件	(PG 0件、HG 0件)
イ	機体情報登録	0件	(PG 0件、HG 0件)

添付： 2020年度 委員会活動報告補足

以上

＜ 2020年度委員会活動報告補足 ＞

ハンググライディング競技委員会 委員長 牟田園 明

- 1) ルールブックの改訂
- 2) 委員会ホームページの運営
公認大会の情報、ハングシリーズ大会のエントリー情報の更新は随時実施
- 3) 第9回FAIハンググライディングクラスV世界選手権選手派遣 (Groveland アメリカ)
スポーツクラス、クラス2、女子も併催予定だったが、感染症拡大の影響を受けて開催中止
- 4) 2020年ハンググライディング・クラスI日本選手権開催 (茨城県 板敷山エリア)
10月1日～4日 40名参加 タスク2本成立・日本選手権不成立
当初は3月に予定されていた大会を10月に延期
成立条件を満たさなかったため、日本選手権者は不選出
- 5) 2020年クラスV日本選手権開催 (茨城県 石岡市 足尾山エリア)
10月31日～11月3日 16名参加。タスク2本成立
日本選手権者：山口裕之、2位 岡田伸弘、3位 山本剛
- 6) ハンググライディングシリーズ管理運営
参加人数 68名
総合 1位 名草慧、2位 鈴木由路、3位 田中元気
女子 1位 野尻知里、2位 鈴木あき子、3位 内田秀子
クラス5 1位 板垣直樹、2位 塩野正光、3位 岡田伸弘
- 7) フライトコンテストの運営
ストレートディスタンス
クラスI 1位 田中猛 236.8km 2位 砂間隆司 148.32km 3位 芳賀亮太 132.2km
クラスV 1位 松田隆至 216.44km 2位 宍戸俊之 164.84km 3位 km
アウトアンドリターン
クラスI 1位 石坂繁人 68.87km 2位 砂間隆司 54.56km 3位 田中元気 40.84km
クラスV 1位 佐々木則生 135.48km 2位 松田隆至 133.9km 3位 古坂学俊 86.66km
トライアングル
クラスI 1位 石坂繁人 108.47km 2位 田中元気 43.38km 3位 太田昇吾 42.34km
クラスV 1位 松田隆至 119.14km 2位 山口裕之 114.44km 3位 宍戸俊之 99.46km
デュレーション
1位 中西亮太 7:20:11 2位 田中猛 5:59:49 3位 太田昇吾 5:05:18
- 8) 各種大会のJHF公認および後援申請に対する審議および承認
- 9) SNSによる情報発信

パラグライディング競技委員会 委員長 岡 芳樹

- ルールブックの改訂
- 2) ウェブ事務局・ホームページ管理
- 3) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理

・ Jリーグ結果（参加人数114名、成立大会2）

オープンクラス 1位：成山基義、2位：廣川靖晃、3位：平木啓子
オープンクラス女子 1位：平木啓子、2位：成山奈緒、3位：中目みどり
スポーツクラス 1位：長島信一、2位：川名 啓、3位：早坂真有美

・ J2リーグ（参加人数138名、成立大会4）

総合 1位：中川喜昭、2位：坂本智春、3位：木村 勇
女子 1位：坂本智春、2位：四方 純、3位：鈴木 彩
チーム 1位：チーム印南、2位：TEAM 沢の霧、3位：コナモン

・ XCリーグ（8名、19本）

1位：中川喜昭(321.1km)、2位：二三四藤昭(238.5km)、3位：小林敦之(204.6km)
最長フライト：中川喜昭(179.8km)

・ AJリーグ（参加人数36名、成立大会5）

スクラッチクラス 1位：岡 芳樹、2位：和田浩二、3位：日野政浩
スクラッチクラス女子 1位：山口香代、2位：成山奈緒、3位：伊藤まり子
ハンディキャップクラス 1位：古賀光晴、2位：岡 芳樹、3位：日野政浩
学生クラス 該当者なし
チーム 1位：スカイ朝霧、2位：ぴよぴよ、3位：ぱいいんざすかい

4) 2020年度XC日本選手権開催（茨城県足尾エリア）9月18～22日

タスク3本成立/5日 69人参加 規定により日本選手権として成立。

日本選手権総合1位：成山基義、2位：小林大晃、3位：星田真一、4位：岩崎拓夫、
5位：廣川靖晃、6位：平木啓子。

日本選手権女子1位：平木啓子、2位：中目みどり。3位：成山奈緒。

5) 2020年度アキュラシー日本選手権開催（静岡県猪之頭エリア）11月28～30日

8ラウンド成立 28人参加 規定により日本選手権として成立。

日本選手権総合1位：岡 芳樹、2位：森山 拓、3位：川村 眞、4位：塚原隆信、
5位：山口香代、6位：菊田高司。

日本選手権女子1位：山口香代、2位：菊田久美、3位：伊藤まり子。

安全性委員会 委員長 竹村 治雄

- 1) 2020年度事故件数 PG 17件（内重大事故4件）
MPG 2件（内重大事故1件）
HG 4件（内重大事故0件）

2) PG・MPGパイロットセミナーの開催実績

11月7日 PG 愛知県連・岐阜県連合同安全セミナー 加賀山

3) 事故報告書の作成

霊石山ハンググライダー事故報告書

4) セーフティーノーツの管理（担当：竹村）

・定期的にDHV、BHPA等の情報を確認し、可能な範囲でウェブに反映

5) ハング機体整備制度・現状調査（担当：西本）

- 6) 安全性委員会ホームページ状況管理 (担当: 伊尾木)
 - ・定期的に確認
- 7) JHFレポートでの安全に関する記事の掲載
- 8) JHFウェブページによる注意喚起情報の提供
 - パラグライダータンデムフライト中のマスク着用について
 - フランスでのタンデム死亡事故について
 - MPG重大事故発生に関して (補助動力委員会と連名)
 - カラビナにおける変形について (教員スクール事業委員会と連名)
- 9) チェック5タグの普及促進 (安全注意喚起)
 - 【5項目】レスキューピン、ラインチェック、バックル (レッグ→チェスト)
 - 無線機 (通信→ロック)、風の状況
- 10) JHF新型コロナ感染予防対策ガイドラインの作成 (教員スクール事業委員会と連名)
- 11) 機体登録制度の推進と改訂検討 (EN926-1, EN926-2 認証機体の登録簡素化)

教員・スクール事業委員会 委員長 北野正浩

- 1) PG・HG・MPGパイロット安全セミナーの開催
- 2) 教員実技検定会 PG 3名 HG 0名
- 3) 教員学科集合検定会 (2021年2月27日～28日)
 - 参加者7名 (受検PG6名、HG0名、MPG1名)
- 4) 上級タンデム技能証検定会 5カ所 49名受検
- 5) 教員助教員更新講習会 14カ所 78名受講
- 6) レスキューパラシュートトリパック認定証更新講習会 4カ所 5名受講
- 7) レスキューパラシュートトリパック認定証検定会 新規認定 6名
- 8) PG教本改訂版の発行
- 9) HG教本の発行 (最終校正段階。PGに続いて発行)
- 10) 教員の資質向上 (教員・助教員更新時に「保留」可能に)
- 11) 教員検定員連絡会議を設置。検定員相互と委員会が緊密に連絡できるようにし、教員・助教員の実技水準統一を目指す。

補助動力委員会 委員長 須藤 彰

- 1) 事故報告・クレーム
 - 9月13日 千葉県野田市 利根川にMPG墜落 30代女性 試乗機フライトで
 - 12月27日 愛知県豊田市 エンジン始動時にプラペラが頭部にあたり重症 台の上でエンジン始動 60代男性
- 2) 補助動力と安全性委員会から注意喚起を出す。(水没事故対応)
- 3) イベント大会・活動に関して
 - 6月 青森県 MPG安全セミナー 青森県連 30名参加

JHF・JPMA共催パラモーター全国大会 in 久住高原

10月1日～4日 大分県久住高原で地域のウォーキングイベントと合わせて開催
参加者44名 コロナ対策をして開催

1月 新千歳空港事務所への回答 (MPGの空港近くでのフライトについて)

2月27、28日 教員学科集合検定会

制度委員会 委員長 中瀬 誠

1 JHFにかかわる制度の定款、規約、規程、規則などの文書管理

1) 理事会諮問事項への答申等

規程改正案作成と理事会上程

JHF技能証規程

教員助教員の申請資格に関する改正

2) JHF技能証規程改正

技能証規程の分割を提案し改正案を作成

改正後の技能証規程構成

(G) 総則編

(H) ハンググライディング技能証規程編

(P) パラグライディング技能証規程編

(M) モーターパラグライディング技能証規程編

(R) レスキューパラシュートトリパック認定証規程編

3) JHFホームページ上の総覧整備 (規程改正およびFAI部分)

<https://jhf.hangpara.or.jp/office/office.html>

4) FAI技能記章、公式立会人に関する事項の研究

2 他委員会および事務局との連携

1) 各種制度導入および改正について教員・スクール事業委員会と検討

JHF教員助教員更新講習会規程

PG教本の改訂作業に協力 (JHF技能証規程を改正)

2) JHF役員選任規約を役員選任実行委員会とともに検討

2020年通常総会へ改正案を上程

ハングパラ振興委員会 委員長 井上 潔

1) 今飛んでいる人が飛び続けられる環境作りの検討(継続)

- フライヤーズボイスの定期更新体制の運用と継続的見直し
- 飛ぶのを止めてしまった方の状況分析

- 学生が卒業して止めてしまう問題の分析と対応策検討（学連と連携）
 - 家族向けパンフレット「ご家族の皆様へ(仮称)」制作、学生向けに配布
継続的に随時更新
 - JHFレポートの活用(特集記事執筆)
 - SNS (Facebook 等) を活用した情報発信の検討
 - スポーツナビの活用提案
- 2) 体験会等イベントへの協力
- 3) 外部組織との連携
- VR体験に関する大学研究室との協力体制維持

役員選任実行委員会 委員長 鈴木 由路

- 1 2021年通常総会における役員選任の準備
- 2 役員選任規約の改定検討